

HDS028-05

会場:302

時間:5月23日 17:28-17:45

千葉県での地震動予測図の活用 Application of Seismic Hazard Map in Chiba prefecture

浅尾 一己^{1*}

Kazumi Asao^{1*}

¹ 千葉県総務部消防地震防災課

¹ Chiba Prefecture

千葉県では、平成19年度に東京湾北部地震、千葉県東方沖地震、三浦半島断層群による地震の三つの地震を対象に地震被害想定調査を実施し、地震動の予測や被害量の算出を行った。

地震動予測結果は、県民だより（新聞折り込み各個配布）や新聞各紙、県ホームページ等で公表した。平成20年度には新たに「ちば地震被害想定ホームページ」（<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/higaisoutei/index.html>）を立ち上げ、250mメッシュ毎の震度、最大速度、最大加速度などをGIS（電子国土Web）で見ることができるようにした。また、市町村には地震動予測のデータを提供し、市町村での活用を促している。

地震動予測図は、県・市町村などの防災関係部局では、橋梁耐震計画、水道配管の耐震化促進など地震防災対策の基礎資料として活用している。県民は、住宅や職場の耐震や住宅購入の参考資料として、住宅・マンション建設事業者も事業の参考にしているようである。

千葉県では、「災害に強い千葉県」を目指し、地震動予測図とともに地震動予測の基礎となった地盤断面（地質、想定標準貫入試験値、想定S波速度等）や特徴ある地層の分布深度図、等深度図などのデータを公表している。これは、県民が足元の地盤や地質、地形に関心を持ち、県民の地震防災に対する意識、自助力の向上を目的としている。

地震動予測図の公表後、講演会や電話・メール等での問い合わせを通じ感じる県民の要望は、自宅、職場、学校等のピンポイントでの地震動予測や情報であり、周辺の情報は必要としていないことである。その場では、県は要望に応える詳細なデータを持ち合わせていないことや地震動予測・データの意味や地盤、ボーリングの重要性を話している。

地震動予測の技術・精度・信頼性の向上、公表の仕方・図面の使いやすさ今後検討することは、情報の発信側として当たり前に必要なことではあるが、活用する側の理解力の向上、知識や判断する力を身につけてもらうことも必要である（防災教育）。

キーワード: 地震動予測図, 千葉県, 防災, 自助, 防災教育, 地震被害想定